

たちばな学び館だより

2025年12月号 発行：たちばな学び館・高崎地域生活課

毎月第3日曜日は、「家庭の日」です。

ご家族お揃いで読書はいかがですか？



たちばな学び館所在地

〒889-4592

都城市高崎町大牟田 1150 番地 1

電話とファックス 0986-45-8181

たちばな学び館は、小さな図書館です！

たちばな学び館は、高崎総合支所2階にあります。

土曜日・日曜日は、東側の警備員室前 出入口を御利用ください。



【休館日】

毎週月曜日・祝日

12月29日～1月3日、6月1日～6月15日

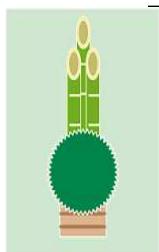
【開館時間】

午前9時30分～午後1時、午後2時～午後5時（午後1時～午後2時は閉館です。）

【館外貸出】

一度に3冊まで、うち新刊1冊（未返却含む）、期間は2週間です。

宮崎県立図書館・都城市立図書館の本もたちばな学び館で予約・返却ができます。

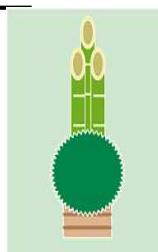


★★★お知らせ★★★

12月29日～1月3日までは、年末年始の休館です。

今年の開館は12月28日（日）までです。

年始は1月4日（日）から開館します。



こどものほん 案内



『100にんのサンタクロースの12かげつ』 谷口智則／文溪堂

ここは、100人のサンタクロースが住む町。

個性豊かなサンタたちは、12か月楽しく過ごしながらクリスマスの準備をします。ところが、その中にずっと寝ているサンタがひとり…。



『きれてる』 鈴木のりたけ／ポプラ社

きれいに切れてる美味しいそうなロールケーキと思ったら、こんな展開あり！？

読めばお腹が空いてくる、そして笑える♪

子どもと大人のツボをつくユーモア絵本です。



新刊案内

『エピクロスの処方箋』 夏川 草介／水鈴社 現役医師が描く、人の命と幸福について

大学病院で数々の難手術を成功させ、将来を嘱望されながらも、母を亡くし一人になった甥のために地域病院で働く内科医の雄町哲郎。

ある日、哲郎の力量に惚れ込む大学准教授の花垣から難しい症例が持ち込まれた。患者は82歳の老人、それはかつて哲郎が激怒させた大学病院の絶対権力者・飛良泉寅彦教授の父親だった---



『家族』 葉真中顕／文藝春秋

「現実の世界では、すんなり完全犯罪を達成できてしまうこともあるんだって学んだんです」

2011年11月3日、裸の女性が交番に駆け込み「事件」が発覚した。奥平美乃と名乗るその女性は、半年と少し前「妹夫婦がおかしな女にお金をとられている」と交番に相談に来ていたが、「民事不介入」を理由に事件化を断られていた。

彼女の保護を契機として、表に出た「死」「死」「死」…

“民事不介入”に潜む欠陥を日本中に突きつけた「尼崎連続変死事件」をモチーフとした戦慄のクライムエンターテイメント！

『絶縁病棟』 垣谷 美雨／小学館文庫

切るべきなのは病巣でなく人間関係

神田川病院の桐ヶ谷キワミ医師は、三回の離婚で人生を考え直し、趣味を謳歌しながらアルバイトとして働いている。

ある日、外来を訪れた七十代の患者・熊野佐奈枝は、女性医師が担当でないと嫌だと言う。「いい歳をして自意識過剰だ」と鼻で笑う部長に“時代遅れ”だと反論するキワミ。部長から譲り受けた聴診器を使うと、佐奈枝の体調不良の意外な原因が明らかに…！？



人から羨まれるような人生を送る女性たちの“見えざる不調”的理由とは。大反響「病棟」シリーズ第4弾。



『国宝 上・下』 吉田 修一／朝日新聞出版

俺たちは踊れる。だからもっと美しい世界に立たせてくれ！

極道と梨園。生い立ちも才能も違う若き二人の役者が、芸の道に青春を捧げていく…。

2025年大ヒット映画「国宝」の原作小説！



この他にも新しい本がたくさん入っていますので、お気軽にお越しください♪